令和5年度（2023年度）モニタリングシート

施設名	久保山 学童保育所第2クラブ

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか 【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B 人員配置基準に満たない日は他施設へ応援を要請、配置を整えた	B		B 他施設に配置不足がある場合は自施設職員を応援に出し、支援単位に合わせた配置に努めた。	B		B 人員配置基準に満たない日は他施設へ応援を要請、配置を整えた	B		B 人員配置基準に満たない日は他施設へ応援を要請、配置を整えた
		月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか		B	月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のミーティングノートや職員同士で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子ども達の詳細の状況を記録することで、全職員、全学童で情報を共有し保育につなげる取組みを行っている。	B 適切に作成している	B		B 適切に作成している	B		A　育成日誌の裏面に、ミーティングノートを作成し、業務記録と保育状況、保護者対応がいつでも分かるよう変更した。	B		A　業務記録と保育状況、保護者対応が共有できるよう、前日の日誌をミーティング時に確認し、全職員で情報や課題、問題を共有、保育に活用できていた。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
		収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか 【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか 【研修件名・内容】	B	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	B ・職員研修（倫理、虐待予防） ・ブロック別保育実践研修（事例検討会） ・普通救命講習、応急救護研修	B		B ・安全対策研修「応急救護法」 ・職員研修（倫理、虐待予防） ・ブロック別保育実践研修（事例検討会）	A	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修を計画的に実施、参加している。また、法人の全所長が出席する全体保育実践研修では、「気になる子についてのケース検討会」を実施。実際に発生している現場の課題について、討議がなされている。討議された内容やアドバイスを基に次の保育活動に活かし、取り組んだ効果について、再び全所長で確認・検証するといった年間を通して職員の資質向上に取り組んでいる点を評価した。	A ブロック別保育実践研修（事例検討会） 職員研修（食物アレルギー対応　エピペン使用のロールプレイ）	B		A：全体で研修委員会を組織し、計画的に実施。全体保育実践研修や職員研修に参加し、他施設での対応を学ぶことで、自施設の保育に役立てた。
			保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか 【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で非常通報装置等、業務の一括委託が行われている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		A　今年度通じてルールに沿って、学校交換便で書類を送り、確認の連絡を行い、支援課、保育所双方で不明な点が無いように心掛けた（付箋や対応者明記、受け取り確認）。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B マニュアルに沿って適正に管理し、項目ごとにファイリングをしてキャビネットで保管している。	B		B マニュアルに沿って適正に管理し、項目ごとにファイリングをしてキャビネットで保管している。
			設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか 【事業報告書・実地調査】	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。保育室、事務スペースは整理整頓が励行され整然としている。また、荷物等を棚上に置く際は、荷物を箱に入れてから棚に上げ、さらにネットを張る等、荷崩れや転落防止策を講じるなど安全面への意識は高い。	B（問題なし）	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われ、保育室、事務スペースは整理整頓が励行されている。荷物等を棚上に置く際は、荷物を箱に入れてから棚に上げ、さらにネットを張る等、荷崩れや転落防止策を講じるなど安全面への配慮を評価する。	B（問題なし）	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。保育室、事務スペースは整理整頓が励行され整然としている。また、荷物等を棚上に置く際は、荷物を箱に入れてから棚に上げ、さらにネットを張る等、荷崩れや転落防止策を講じるなど保育環境に対する安全面への取組み方を評価した。	B（問題なし）	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は年間を通じて適切に行われている。保育室、事務スペースは整理整頓が励行され整然としている。また、荷物等を棚上に置く際は、荷物を箱に入れてから棚に上げ、さらにネットを張る等、荷崩れや転落防止策を講じるなど保育環境に対する安全面への取組み方を評価した。	B（問題なし）
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3．0以上である。	B 全ての項目は3.0以上。 問題なし。
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		B	児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力して行い、放課後子ども教室開催時には積極的に参加している。	A 放課後子ども教室と学童保育所双方で開催するイベントにお互い積極的に参加している（七夕行事など）	A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力して行っており、放課後子ども教室実施日には積極的に参加している。本市の一体型を理解し連携推進員を活用し、七夕工作、飾り付けなど様々な双方の企画や連携した取組を行っていることを評価する。	A 放課後子ども教室と学童保育所双方で開催するイベントにお互い積極的に参加している（あそびランドなど）	A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力して行っており、放課後子ども教室実施日には積極的に参加している。本市の一体型を理解し連携推進員を活用し、ドッジボール大会、サッカー大会、遊びの出前など様々な双方の企画や連携した参加方法を行っていることを評価する。	A 放課後子ども教室と学童保育所双方で連携を取っている。（ドッジボール大会サッカー大会練習・遊びの出前講座・防災教育・シッティングバレー）	A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力して行っており、放課後子ども教室実施日には積極的に参加している。年間を通して、本市の一体型を理解し連携推進員を活用し、ドッジボール大会、サッカー大会、遊びの出前など様々な双方の企画や連携した参加方法を行っていることを評価する。	A 今年1年通常活動からイベントまで放子教と学童保育所で連携を取り、共催行事を子働きかけた。（スポーツプログラム・節分・遊びランド）
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がされている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B：苦情無し 相談には速やかに子ども家庭支援センター、小学校と連携も図った
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	B	保護者会、おたよりやアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B　一斉メール配信と窓口対応で周知し、活動の通知と理解を深める取り組みをしている。ICTシステムを導入。本格始動へ向けて準備している。	B		B お迎え対応やおたよりを通じて児童の様子やイベントの様子を伝えている。今年度は保護者ニーズの高いレトルトランチの回数を増やした。
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか 【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	A	日頃から学校との情報提供・共有から、新たな保育場所を確保するとともに、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。	B（問題なし）	A	学校とは、日頃から児童の情報共有を行い、体育館や放課後だけ利用できる教室の借用など連携が図られている。また、子ども家庭支援センターや児童館イベントの手伝いや、地域のウォーターフェスにも参加するなど、学校・地域との関係が構築できている点を評価する。	A 地域が企画する水遊び（PTA主催うつきウォーターフェス）に参加。	A	日頃から学校との情報提供・共有から、新たな保育場所を確保するとともに、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。サッカー大会実施においては、他法人の学童にも参加の声掛けを行って実施。地域で開催された防災教育への参加や、学童まつりにおいて地域の方を招くなど、地域の方とのコミュニケーションも図り、行事において地域や関係団体との連携を取り入れて実施している点を評価した。	A 地域が企画した防災教育に参加。防災グッズを作製。、ミニサッカー大会で、他指定管理施設も含めた交流行事の実施	A	日頃から学校との情報提供・共有から、新たな保育場所を確保するとともに、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。サッカー大会実施においては、他法人の学童にも参加の声掛けを行って実施。地域で開催された防災教育への参加や、学童まつりにおいて地域の方を招くなど、地域の方とのコミュニケーションも図り、行事において地域や関係団体との連携を年間を通じて積極的に取り入れて実施している点を評価した。	A 1年通じて学期ごとにスポーツ大会、PTA行事、放子教と共催行事など交流行事を実施。季節行事は保育所在籍以外の児童も楽しみにしている。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B SDGsのすごろくとカルタを使った活動を実施、学童まつりでSDGSを取り入れる 裏紙や雑紙を日常的に再利用している	B		B 裏紙や雑紙を日常的に再利用している。誕生会やおみせやさんなどのイベントで使用するものも雑紙を利用。
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	計画どおり実施されている。	B（問題なし）	A	計画どおり実施しているほか、猛暑により外遊びが制限されたことから、室内で過ごすための遊具を選んで購入し、エコ作品などの工作行事も多く実施した。またラキューを毎日取り組ませ、完成した作品を室内に展示しているのは圧巻で、子ども達の目線になり夢中にさせる良い取り組みである。	A ・エコ工作（使用済み半紙再利用） ・昼食提供および第1クラブとの交流会開催 ・宿泊キャンプ（4年ぶり実施）	B		A 4年振りに地域の方も招き、学童まつりを開催。	B		A 年間計画以外にスポーツプログラムを計画し、放子教との共催行事や防災教育を実施。
		防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか		B	地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		A 従来の計画に回数を増やし、季節や事象に合わせた内容にてついて学習した。	B		A 従来の計画から回数を増やし、季節や事象に合わせた内容にてついて学習した。学習方法も座学だけでなく、遊びを取り入れたものや訓練など多岐に渡って学習を実施。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		A 毎退勤時、施錠チェック表を使用しながら、適切に保管し施錠。翌日勤務者も確認した。
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】										B	保険加入は適切である。	B（問題なし）
			事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	万が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。	B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）	B		B（問題なし）
			事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B 全体で安全対策委員会を組織し、委員を中心に事故発生の原因、ヒヤリハット事例を分析対策等全職員で共有し、再発防止に努めている	B		B 全体で安全対策委員会を組織し、委員を中心に事故発生の原因、ヒヤリハット事例を分析対策等全職員で共有し、再発防止に努めている	B		B 全体で安全対策委員会を組織し、委員を中心に事故発生の原因、ヒヤリハット事例を分析対策等全職員で共有し、再発防止に努めている	B		B 全体で安全対策委員会を組織し、委員を中心に事故発生の原因、ヒヤリハット事例を分析対策等全職員で共有し、再発防止に努めている

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。会計処理も適切であり問題はない。 社会福祉協議会は、学童保育所の管理運営を20年以上行っており、多くの施設を適切に管理・運営するためのノウハウが蓄積され、育成日誌をはじめとする帳票類の記載や各種マニュアルの更新も随時行われ整っている。 適正な職員配置における応援体制や、課題等が発生した場合、組織全体で対応・解決していくこと、保育行事、職員研修において法人枠を超えて近隣の学童保育所ともに実施する姿勢は公の施設を管理運営する意識が高く評価する。 施設内は、整理整頓が励行されており、快適な保育環境が確保されている。放課後子ども教室運営団体と連携を図り多数の共通行事を実施したり、地域行事への積極的な参加、学童行事に地域の方々を招いて相互交流を図るなど、 特色ある行事を計画的に行い、保育活動の拡充・拡大に取り組んでいる。これにより、利用者満足度調査の数値も高い。 今後も保護者、学校、地域をはじめとする関係機関と良好な関係を築き、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育の運営を期待する。